
「第2回白鳥庭園ガイド研修会」に参加して 小倉 智子(正会員)

2020年9月27日に行われた白鳥庭園研修会に参加しました。唐破風の正門から庭園への生け垣の道は、角を曲がるまで何があるかわからないという好奇心をかき立てる設計です。日々の雑事を忘れ、美しいものに浸る準備をするためと教えていただき、なるほどと思いました。角を曲がり、ゆったりした道をたどりいよいよ園内です。

白鳥庭園は、御岳山から伊勢湾までの木曾川の旅を、3.7ヘクタールの敷地内に8つのパートで表現しています。まず御岳山を模した築山に向かいました。頂上へは鯉の鱗を表す模様の下階段と龍の背のような野生的な上階段。その背に乗って私たちは一気に御岳山の頂上へ。鯉は見事龍になりました。さあ、水の物語の始まりです。山の豊かな自然から湧きでた水は森を抜けて流れます。途中にあ

る荒々しい滝は雄滝、流れが緩やかになったところにある優しい滝は雌滝。明るく広々とした里を抜け、潮の満ち引きのある広大な海へと水は旅していきます。

動と静、陰と陽を楽しみながら、白鳥八景を巡りました。季節の草木を目で楽しみ。水の流れや木々を渡る風の音を聞き、花の香しい匂いをかぎ、葉っぱの柔らかさや水の冷たさに触れ、汐入亭でお茶をいただく。白鳥庭園は五感が存分に刺激される場所でした。

枯山水の研ぎ澄まされた美しさも素晴らしいですが、水がある庭園はゆったりとした豊かな気持ちになれ、日本人が自然と共生してきたことを再認識した一日でした。素晴らしい研修でした。どうもありがとうございました。

コロナ禍における「オンライン勉強会の勧め」 山口 真(正会員)

COVID19対策で当面は名古屋城定期ガイドが中止となってから、「いつかは、またゲストを案内できる日がくるはず。それまで3密を避けながら出来る勉強をしてみよう」と思いました。そこで、屋外ならば感染のリスクは少ないだろうと、自分だけで、名古屋駅～徳川美術館のウォーキング、笠寺一里塚～有松一里塚のウォーキング等をしていましたが、やはりAGGNメンバーさんとの話がしたくなり、4月末から土曜日の午前中に1回40分前後のオンライン勉強会をスタートしました。

今までに実施したオンライン勉強会のテーマとその実施回数は「名古屋城」7回、「大須・熱田・有松」3回、「愛知県の産業・名古屋めし」2回です。資料やテキストを読むだけよりもリアクションの有る会話は楽しいし、学習としても効果的と感じます。

6月には笹治さんが金曜日に勉強会をスタートされ、11月と12月には藤堂さんが伝統建築のオンライン勉強会を開催されていますし、他にも

曜日グループで勉強会をされているところがあるようです。

最初はオンラインの接続などに苦労しましたが、会場への移動が無いので参加しやすいし、参加者の皆さんが発言しやすいなど、オンラインならではのメリットも見つけられました。また、参加者の皆さんからも「海外からの観光客が途絶えた状態でガイド内容を忘れない為に有効だった」、「普段は聞けない他の人のガイドを知ることができ勉強になった」等、嬉しいコメントをいただきました。

今後の土曜日のオンライン勉強会では、新会員さん中心の名古屋城ガイドの練習の他に、新たなテーマとして、会話の進め方、日本史の話題、季節の花、お寿司に載っている魚の説明等、より広い話題も取り上げてみたいです。1月後半から再開のつもりですので、ご都合の付く方は、是非ご参加下さい。

…………… 事務局よりご案内 ……………
名古屋城グループのオンライン勉強会についてのご質問やお問い合わせは事務局までお願いします。